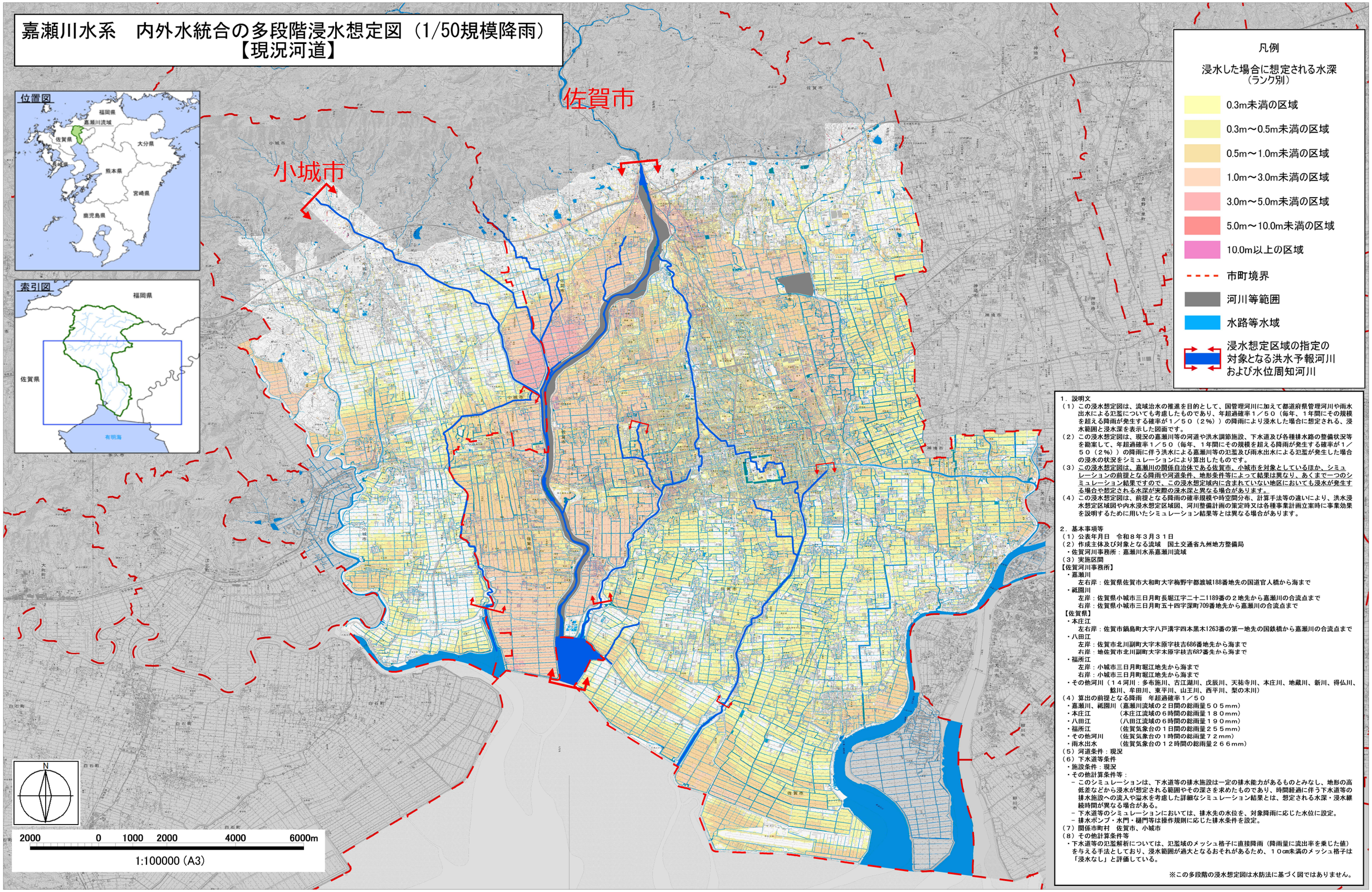
嘉瀬川水系　内外水統合の多段階浸水想定図（1/50規模降雨）
【現況河道】



１．説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える降雨が発生する確率が１／５０（２%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（２）この浸水想定図は、現況の嘉瀬川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える降雨が発生する確率が１／５０（２%））の降雨に伴う洪水による嘉瀬川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）この浸水想定図は、嘉瀬川の関係自治体である佐賀市、小城市を対象としているほか、シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

（４）この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

２．基本事項等

（１）公表年月日　令和８年３月３１日

（２）作成主体及び対象となる流域　国土交通省九州地方整備局

・佐賀河川事務所：嘉瀬川水系嘉瀬川流域

（３）実施区間

【佐賀河川事務所】

・嘉瀬川

左右岸：佐賀県佐賀市大和町大字梅野宇都渡城188番地先の国道官人橋から海まで

・祇園川

左岸：佐賀県小城市三日月町長堀江字二十二1189番の２地先から嘉瀬川の合流点まで

右岸：佐賀県小城市三日月町五十四字深町709番地先から嘉瀬川の合流点まで

【佐賀県】

・本庄江

左右岸：佐賀市鍋島町大字八戸溝字四本黒木1263番の第一地先の国鉄橋から嘉瀬川の合流点まで

・八田江

左岸：佐賀市北川副町大字木原字枝吉686番地先から海まで

右岸：地佐賀市北川副町大字木原字枝吉682番先から海まで

・福所江

左岸：小城市三日月町堀江地先から海まで

右岸：小城市三日月町堀江地先から海まで

・その他河川（１４河川：多布施川、古江湖川、戊辰川、天祐寺川、本庄川、地蔵川、新川、得仏川、鮫川、牟田川、東平川、山王川、西平川、梨の木川）

（４）算出の前提となる降雨　年超過確率１／５０

・嘉瀬川、祇園川（嘉瀬川流域の２日間の総雨量５０５mm）

・本庄江　　（本庄江流域の６時間の総雨量１８０mm）

・八田江　　（八田江流域の６時間の総雨量１９０mm）

・福所江　　（佐賀気象台の１日間の総雨量２５５mm）

・その他河川　（佐賀気象台の１時間の総雨量７２mm）

・雨水出水　　（佐賀気象台の１２時間の総雨量２６６mm）

（５）河道条件：現況

（６）下水道等条件

・施設条件：現況

・その他計算条件等：

－このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。

－下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。

－排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

（７）関係市町村　佐賀市、小城市

（８）その他計算条件等

・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、１０cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

「国土地理院の電子地形図25000『相知』『古湯』『広滝』『中原』『多久』『小城』『佐賀北部』『久留米西部』『武雄』『牛津』『佐賀南部』『羽犬塚』『鹿島』『牛屋』『佐賀空港』『柳川』を掲載」
「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 859」